

国際生態学センターは地球環境を保全・創造する発信基地として、各種プロジェクトを展開いたします。

- 森林再生に関する調査・実験研究
ブラジル、マレーシア、中国などの森林再生のための現地調査・研究
- アジア・太平洋地域を中心とする植生体系の調査・研究
植物社会学的手法に基づく環境回復のための基礎情報の現地収集
- 里山の生態系の構造と動態および管理方法の研究
里山の植生学的調査とその評価研究
- 地域生態系の構造と動態およびその評価に関する研究
都市、農村など、多様な地域における生態系調査とその評価手法の開発

- シンポジウム等の交流事業の開催
- 各種データベース / サービスの提供
・日本植生体系ウェブサービス
Phytosoc.Web-J
・日本の植物群落データベース
Phytocom-DB



公開ホームページ <http://www.jise.or.jp/data/>

研究開発事業

人間の社会・経済活動の活発化に伴う自然環境、生活環境の悪化が深刻化している中、人間と自然の共生の方法を確立することが急務となっています。地域的・地球的ニーズに応じた生態系の保全・再生・創造の技術を研究・開発し、各分野に積極的に提供しています。

交流事業

実際の環境回復においては、国内外の生態学研究者のみならず、学際分野の研究者と提携していくことも必要です。各種の関係機関との連携にもとづき、広く国際的に環境づくりの実践活動に向けた情報を集積・解析し、応用技術として提供して行きます。

<大学・研究機関>

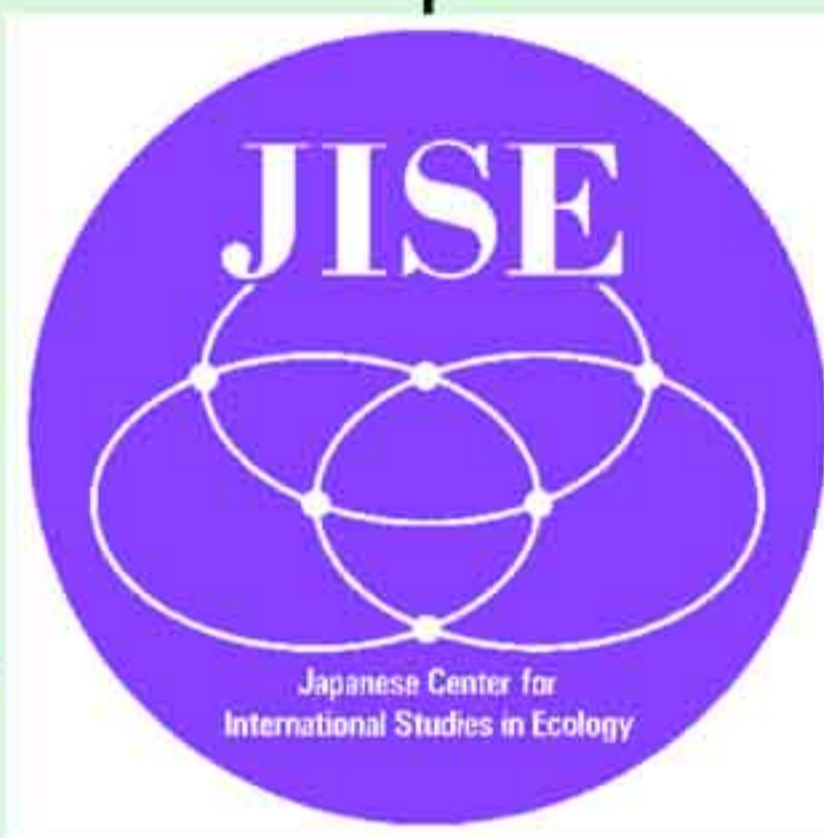
ジョージア大学
ミュンヘン工科大学
ローマ大学
マレーシア農科大学
パラ農科大学
横浜国立大学
京都大学
中国科学院 等

<国際機関>

UNESCO, UNEP 等

<学術団体>

国際生態学連合
国際植生学会
国際熱帯生態学会
日本生態学会
植生学会 等



人材育成事業

優れた人材へのニーズが高い東南アジアをはじめ、国内外からの研究者を対象として、生態学の基礎から実践的な環境回復に至るまでの知見や具体的技術を修得できる研修事業を行います。

普及啓発事業

21世紀に向けた持続性のある生活環境・文明を形成していくためには、生態学的な知見を現場体験を通じて修得することが必要です。生態学の正しい知識と環境保全・回復の実践力を一人ひとりが身に付けるよう、現場からの普及活動を行います。

国内外の行政機関
関係省庁
地方公共団体等

経済団体
民間企業
一般市民
NGO

環境保全・環境回復に関する生態学研修
地域から地球規模に至る環境政策・環境計画策定者養成プログラム

環境保全林形成に関する植生学技術研修
国内自治体・都市計画・地域整備・緑地形成関連業界等を対象とした環境回復計画・保全林形成技術者養成プログラム
東南アジアを中心とする国外からの研修生を対象とした熱帯林などの再生プログラム

環境学習
小中学生や広く一般市民に向けた環境学習、エコロジー教室

紀要（生態環境研究）の発行

機関誌（ニュースレター）の発行



研究員の紹介



研究所長 宮脇 昭
(植生生態学)



村上 雄秀
(植生学)



鈴木 伸一
(植生地理学)



目黒 伸一
(植物生態学)



林 寿則
(植物生態学)



矢ヶ崎 朋樹
(植生生態学)

会員募集

国際生態学センターへのご支援をお願いいたします。

設立趣旨にご賛同ご理解をいただき、事業活動を支援していただける法人、団体、個人の皆様方に、賛助会員・一般会員・研究会員への加入をお願い申し上げます。

なお、当財団は文部科学省より特定公益増進法人の認定を受けておりますので、賛助会員の方は、所得税法及び法人税法上の控除対象となります。

詳しい資料をお求めの方は、当財団事務局までご連絡ください。

TEL. 045-651-7691 FAX. 045-651-7692

e-mail: ecoinfom@jise.or.jp URL: <http://www.jise.or.jp/>

